

○日経大神戸三宮キャンパス・ユネスコクラブに社会公益賞 社会奉仕団体「神戸キワニスクラブ」(鳥居聡会長)が各分野で活躍した個人や団体に贈る社会公益賞贈呈式が神戸市内で開かれ、「日本経済大学神戸三宮キャンパス・ユネスコクラブ」が表彰された。

同クラブは平成25年に設立され、同大学の留学生が中心となりボランティア活動を続けている。令和2年からは留学生による「子ども食堂」「国際キッズカフェ



エ」を実施。各国の学生がお国自慢の料理を子供らに届けている(緊急事態宣言中はテークアウトのみ)。クラブ代表でネパール出身のタバ・セカルさん(28)

神戸キワニスクラブの鳥居会長(手前)から社会公益賞を贈られる日本経済大学神戸三宮キャンパス・ユネスコクラブのメンバーら(神戸市)

は今回の受賞について「本当に光栄。これからも、社会に貢献するボランティア活動を継続していきたいです」と喜んだ。

顧問の安井裕司教授は「今の新型コロナウイルス禍を踏まえ「コロナ禍だからこそやらなければいけない「エッセンシャル・ボランティア」がある。「子ども

食堂」もコロナだからこそテークアウトでもやる必要がある」と活動の意義を強調した。

今年度の社会公益賞にはほかに神戸市西区の「ボランティアグループ たんぼ」が選ばれた。